

## 法華滅罪之寺の由縁について

何故滅罪之寺という寺名がついているのかについて調べてみました。次の書物の一節が一つの解を与えてくれているようです。

町田甲一著「法華寺」（中央公論美術出版）より

…東大寺が「金光明四天王護国之寺」といったのにたいして、法華寺の正規の寺号は「法華滅罪之寺」という。東大寺がその寺名の、国家仏教的な強いニュアンスをもっているのにたいして、法華寺のこの寺名には、尼寺らしい消極的なニュアンスがある。

天平という時代は、一見華やかに見えて、その実は、骨肉も相い食み、権力争奪にあけくれた暗い裏面を持っている。亀井勝一郎氏は「続日本紀を読むと罪悪の匂ひがする」と云われている。そのような闘争、そのような罪悪の渦中に、いや応なしに立たざるをえなかった一人として、光明皇后は国分尼寺の造営を、贖罪的な意識をもって発案し実行したのではなかったろうか。

われわれには、「法華滅罪之寺」という寺名の中に、仏教でいう単なる「罪障ふかき女人」という意識以上の罪の自覚——為政者としての自覚——が隠されているように思われる。そういう自覚があったと考えることの方が、法華寺という寺の有難味、有意義、尊さが、ひとしお深く感じられ、十一面観音の美しさが、ひとしお強調されるように思われる。…